

19. " " " (2), " 704
20. W. B. McDOUGALL (1964): GRAND CANYON WILD FLOWERS, NORTHLAND PRESS
21. 岩月善之助・水谷正美 (1972): 原色日本蕨類図鑑, 保育社
22. 吉村 庸 (1974): 原色日本地衣植物図鑑, 保育社
23. Eric Hulten (1974): Flora of Alaska and Neighboring Territories, Stanford University Press
24. MIEROW SHRESTHA (1978): HIMALAYAN FLOWERS and TREES, SAHAYOGI PRESS
25. 大井次三郎 (1978): 日本植物誌一顕花篇, 至文堂



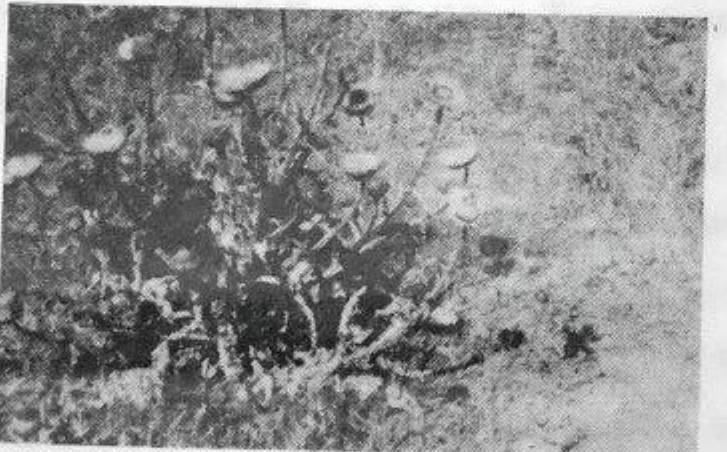
アラスカのツンドラからタイガへの移行地帯



アラスカのツンドラ帯に生えるヤナギ類の団塊状群落



ブラーツク(シベリア)郊外のシベリアアカマツと林床のヒメヤナギラン その他



ヒワ(中央アジア)郊外の半砂漠に生えるトゲのあるヒレアザミの一種



カジュラ木(インド)郊外の半砂漠地帯



桂林(中国)郊外・漓江沿岸のバンブー林

研 修 会 報 告

昭和55年度
 ◇第1回野外研修会 6月29日(日)
 沢杉, 宮崎の自然をさぐる



沢杉のマントソデ群落と説明板を見る学童



笹川上流の七重滝(しっちゃん滝)



城山公園より見る宮崎の鹿島樹叢



七重滝方面へむかう会員一同



笹川上流の美しいホタルブクロ

編集後記

昨年度は会費未納が多数にのぼり、ついに会誌を発行することができませんでした。本年度は会費納入も順調にのび、昨年度分とあわせて会誌(第21~22号合併号)をここに発行することができました。いずれにしても、合併号として発行せざるをえなかった点を、深くお詫びいたします。今後は年度毎に会誌の発行を続けたいと思いますので、会員の方の御協力をお願い致します。

さて本号では、掲載する研究発表が多方面にわたり、大変興味深いものになりました。特に、魚津市役所水産課の堀井直二郎さんが学会へ入会され、カニの研究発表をなさいましたが、新聞にも研究発表の内容が報道されたりして好評でした。今後はさらにこのような新しい会員による研究発表が増えることを期待しております。

また、会員の短信も随時掲載したいと考えておりますので、是非全員の会員の声が集まることを望むものです。そして昭和60年の富山県生物学会60周年記念号は、全会員がなんらかの形で参加するような会誌にもってきたいものです。

最後に、会員の田中誠一さん(氷見窪小学校)が逝去なさいましたので、ここに哀悼の意を表し、心からご冥福を祈りたいと思います。

なお、本年度会誌から、本会誌が国際標準逐次刊行物として、国立国会図書館に登録されることになりました。(昭和56年3月23日承認)それで表紙の右肩にISSN 0389-7494の番号を入れることになりました。お知らせしておきます。

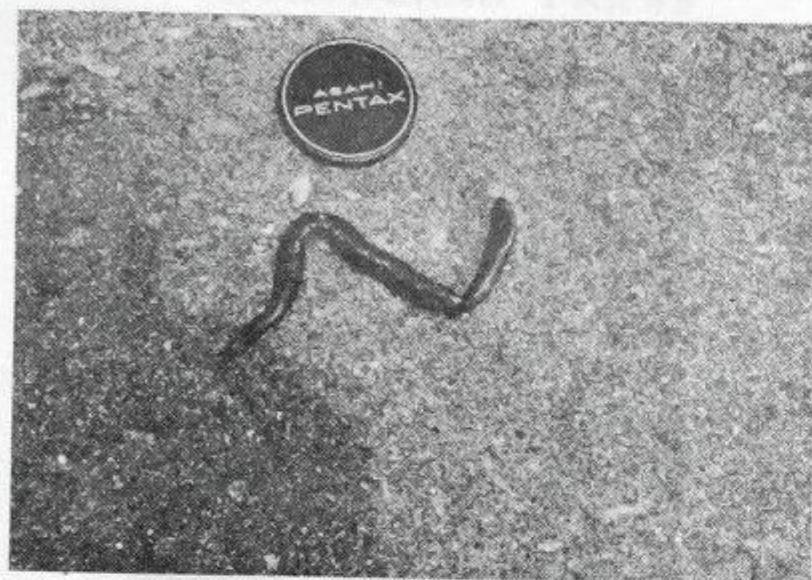
(本多記)

富山県生物学会誌 第21~22号

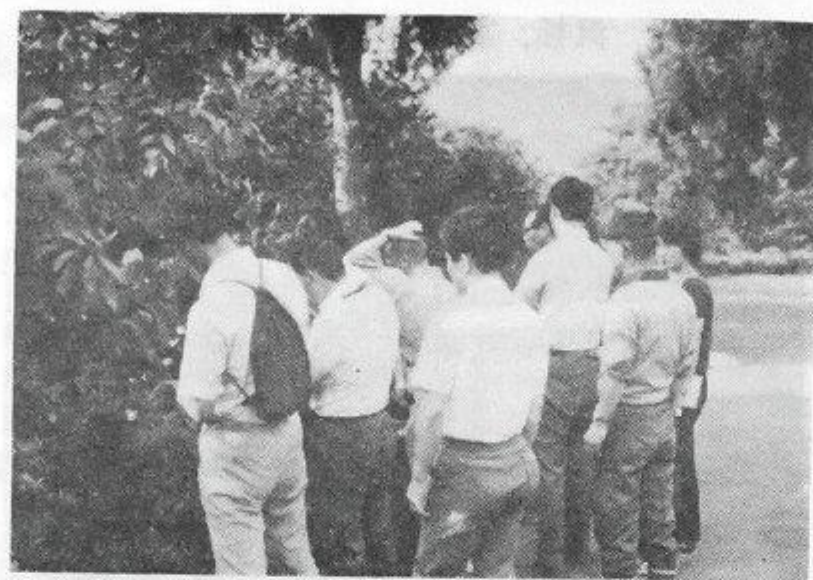
発行日 昭和57年3月20日
発行者 〒930-11 富山市西中野町3-1-19
富山市科学文化センター内
富山県生物学会 事務局
TEL 0764-91-2123
印刷所 〒930-11 富山市今泉390-2
広文堂印刷株式会社
TEL 0764-21-8368

◇第2回野外研修会 7月12日(土)~13日(日)

福井県九頭龍峽の自然を訪ねて(その1)



非常に大きいヤマビル



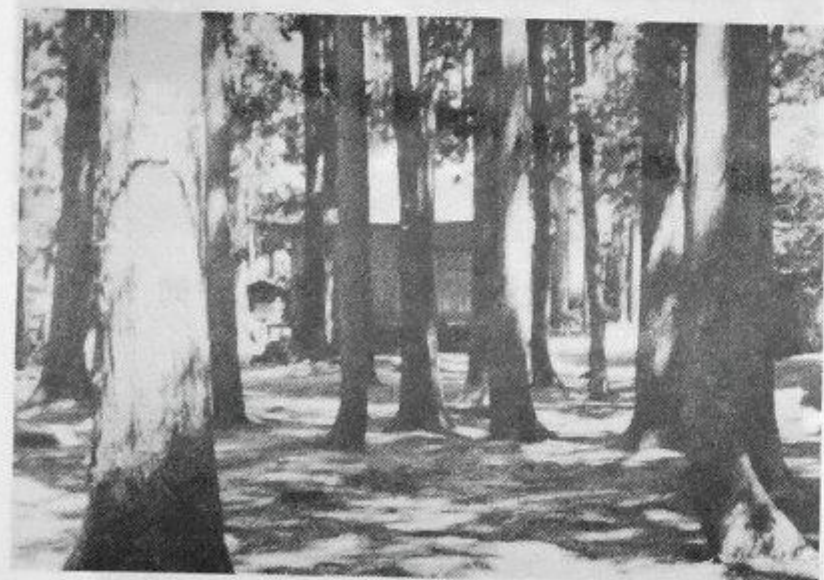
カシワを観察する会員



平泉寺の大スギの参道



平泉寺の苔むす庭園



平泉寺境内のスギの美林

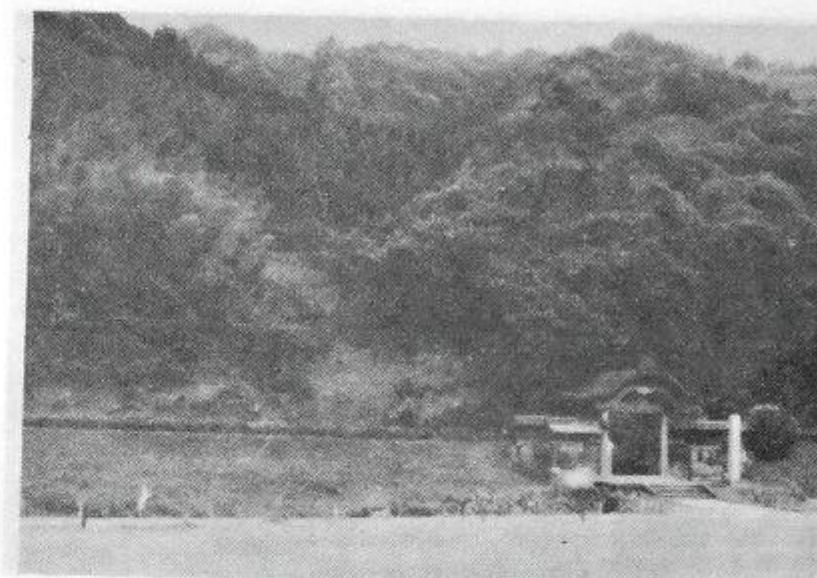


ウラボシも見られる平泉寺境内

(その2)



一乗谷の遺跡



一乗谷右岸の屋敷跡と背後の林相



岐阜県蛭ヶ野高原の湿地に生える
ふいりのミズバショウ



蛭ヶ野湿原のサワアザミ



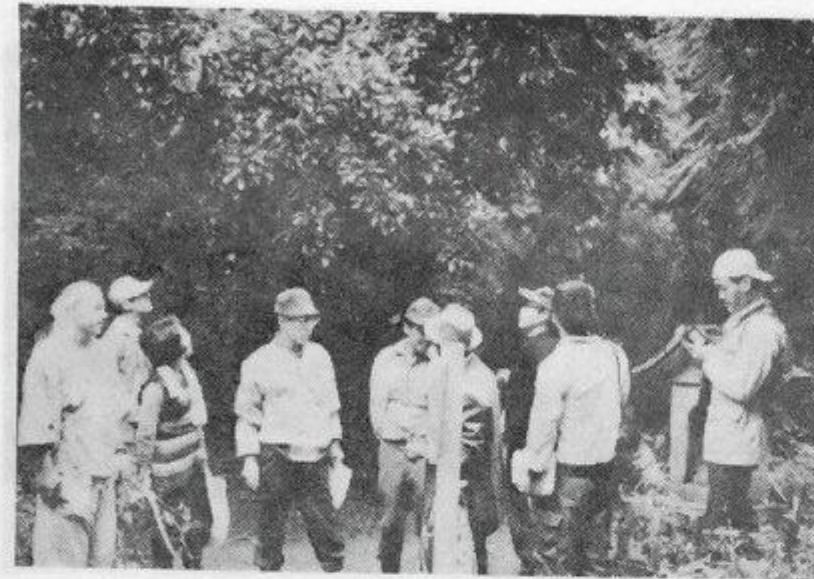
蛭ヶ野湿原を観察する会員



蛭ヶ野湿原のヤマドリゼンマイ

◇第3回野外研修会 10月19日(日)

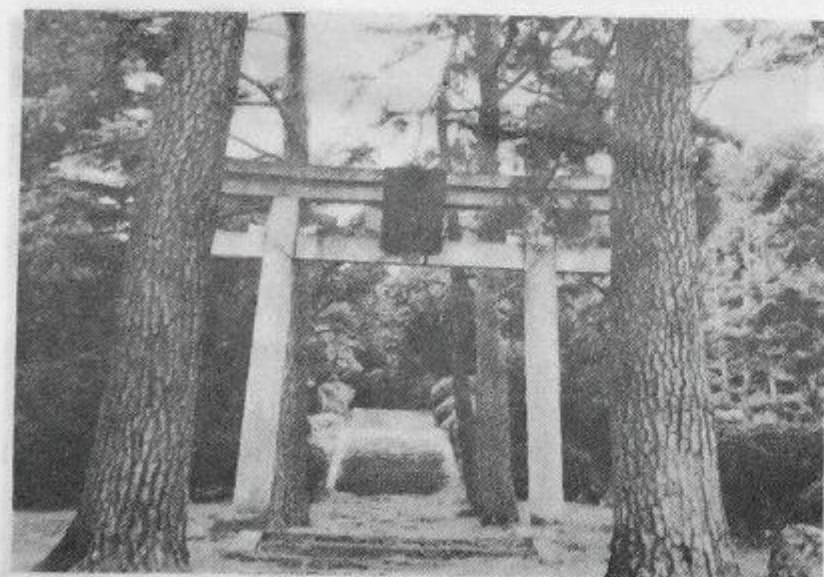
大沢野町寺家, 御前山の自然をさぐる



寺家公園の参道の林相を観察する会員



寺家公園内のアカガシの極相林



寺家公園内の姉倉神社境内林



ススキにうもれる猿倉城跡



御前山から見る林相

昭和56年度

◇第1回野外研修会 6月28日(日)

婦中町常楽寺, 小矢部市大清水の自然をさぐる



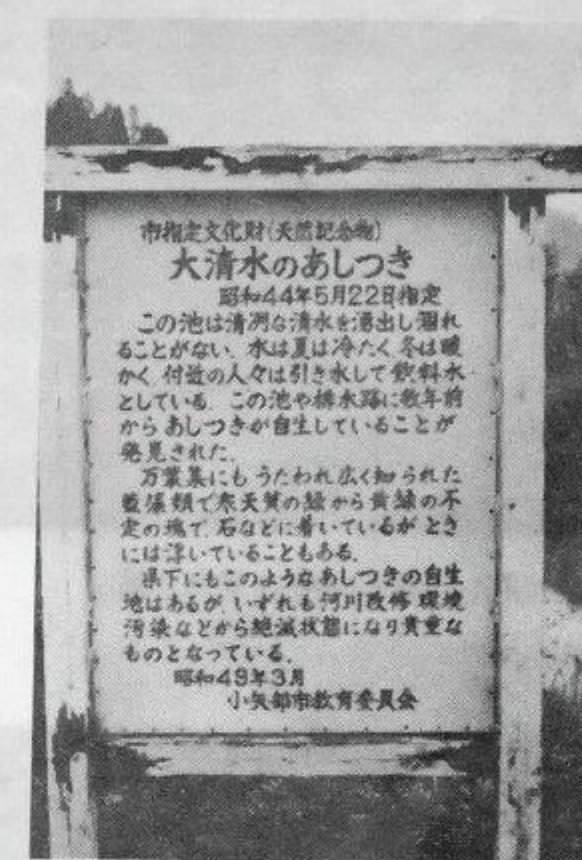
常楽寺のウラジロガシ林



ウラジロガシ林の林床



ウラジロガシ林の林床に生えるツルシキミ



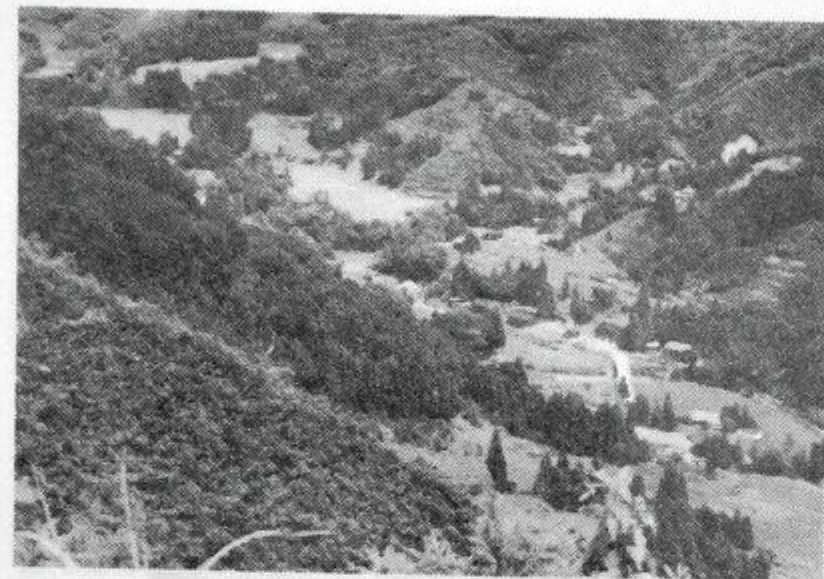
大清水のアシツキノリ



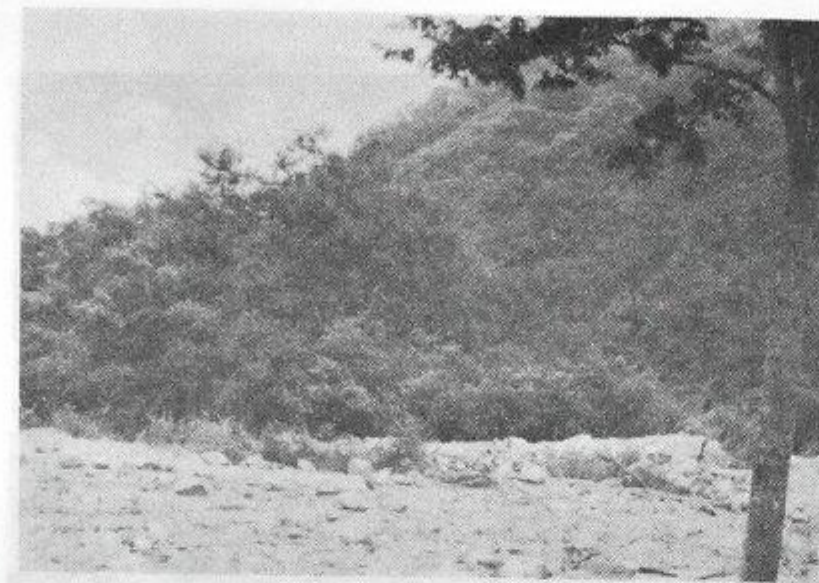
大清水付近の丘陵上にのぞまれるウラジロガシ林

◇第2回野外研修会 7月11日(土)~12日(日)

利賀村の蘚苔類を中心とした観察会(その1)



利賀谷全景



利賀川の河床の林相



崩壊地に見られるドクウツギ群落



河岸に生える大形のフジアザミ



利賀谷によく見られるブナ林

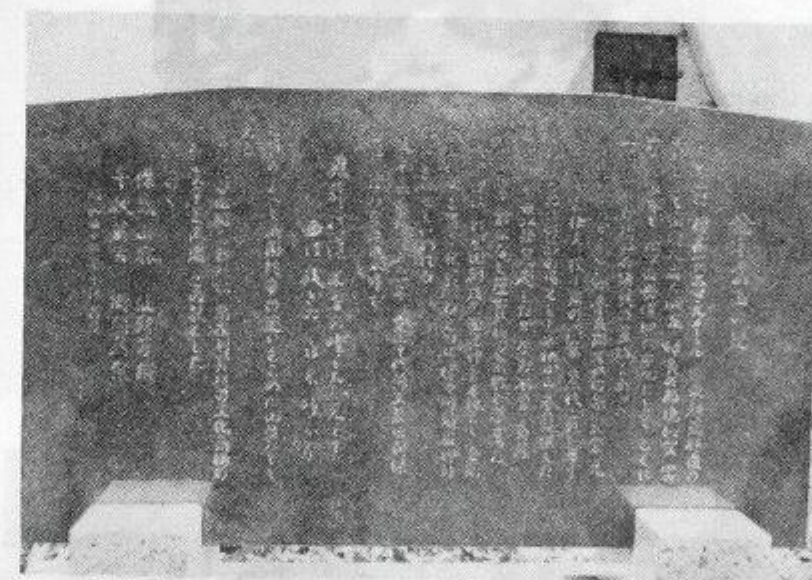
(その2)



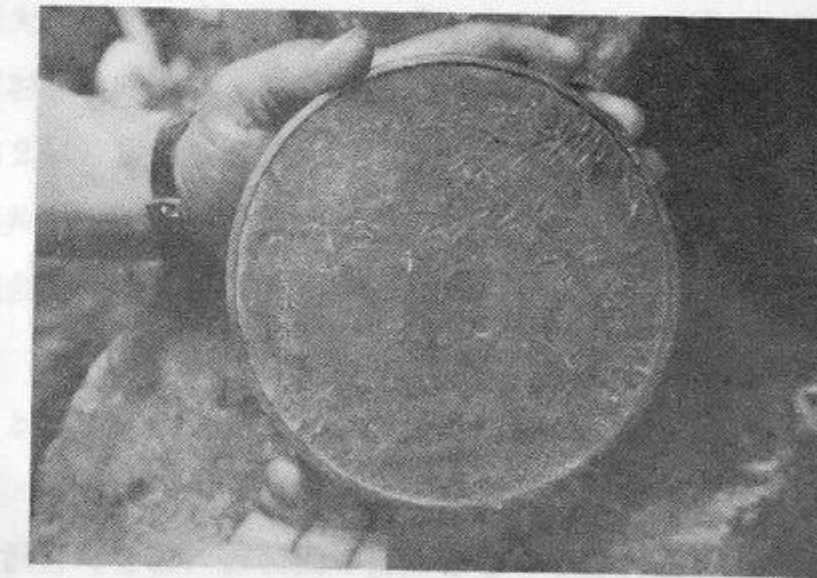
金剛堂山へのゆるやかな登り道



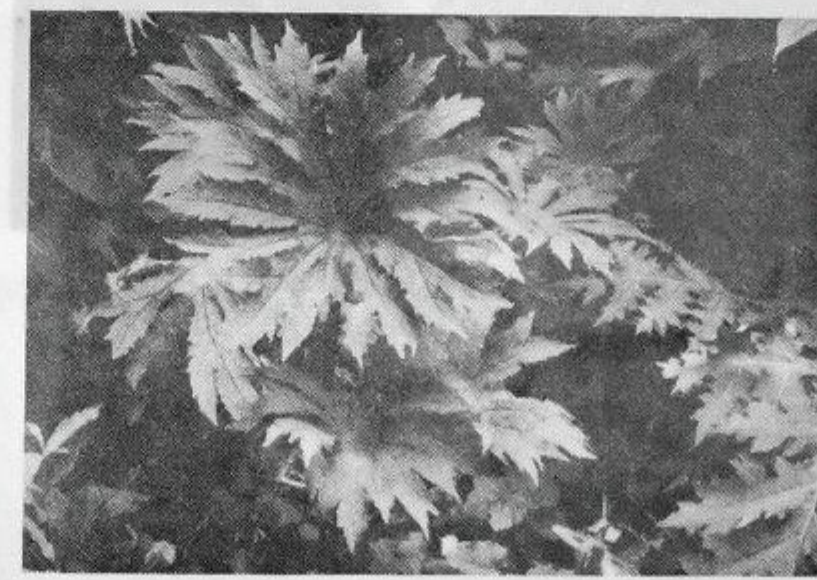
山地草原のひろがる金剛堂山



金剛堂山山頂の碑(標高1637.9m)



山頂の祠にあった鏡も今はない



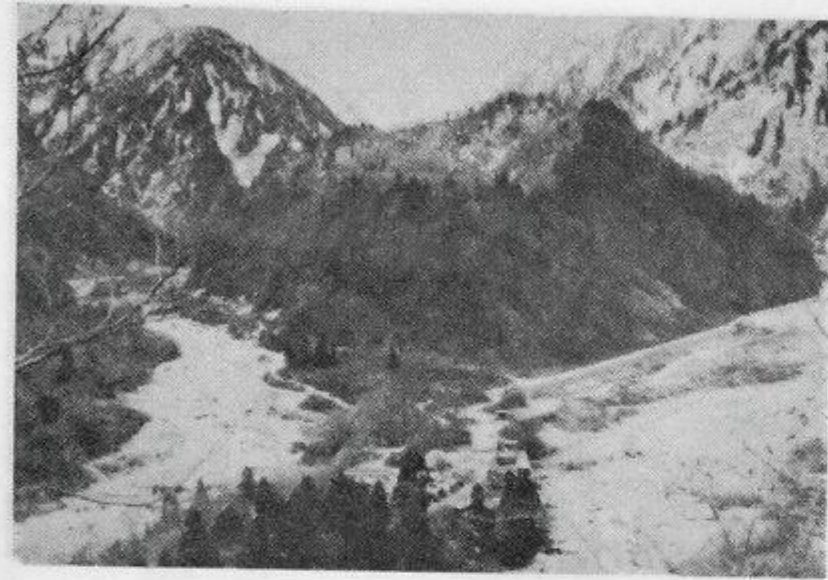
百瀬川上流の河岸に生えるタイミンガサ



百瀬川上流のブナ林

◇第3回野外研修会 11月15日(日)

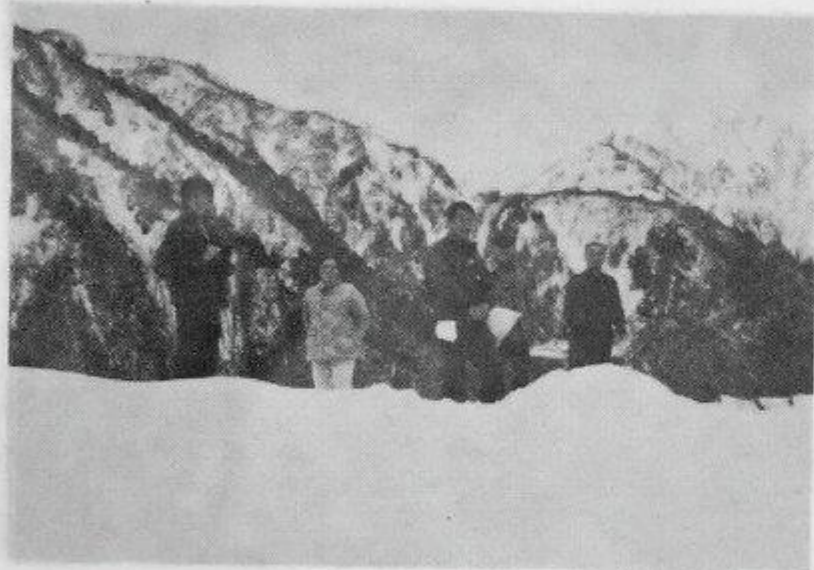
上市町馬場島の自然をさぐる



中山付近より見る馬場島付近



立山スギの巨木が目につく
中山登山道



中山頂上で休けいする会員一同



今や過疎化の進む伊折部落



中山頂上付近より松尾平, 早月尾根,
点在する立山スギがみられる

本 会 記 事

昭和 55 年度

5月17日(土) 第327回 総会並びに研究発表会

於 富山市科学文化センター

・総会

昭和 54 年度事業・会計報告

昭和 55 年度事業計画・予算案審議

・研究発表

スイバ属の核型変異

岩坪 美兼 (富山大学理学部)

・講演

中国のゴマ

富大教授 小林 貞作 先生

6月29日(日) 第328回 例会 沢杉, 宮崎の自然をさぐる野外研修会

7月12日(土) ~ 13日(日) 1泊2日の現地研修会

第329回 例会 福井県九頭龍峡の自然を訪ねて

10月6日(日) 第330回 学術講演会

あいさつ

富山大学 小林貞作博士

遺伝子の組みかえとは

東京大学 飯野徹雄博士

遺伝子工学の展望

国立遺伝学研究所 田島弥太郎博士

10月19日(日) 第331回 例会 大沢野町寺家, 御前山の自然をさぐる野外研修会

11月22日(土) 第332回 研究発表会ならびに講演会 於 富山市科学文化センター

研究発表

1.馬の歯牙の形態について

坂下栄作(女子短大附属高)

2.県内低地産タンポポについて

大島哲夫(富山高校)

3.アラスカのツンドラ植生

本多省三(富山東高校)

講演

本多啓七(富山第一高)

ビルマのゴマ

富大教授 小林 貞作 先生

昭和 56 年度

5月21日(木) 第333回 役員会 於 富山大学理学部小林研究室

・議題

昨年度の反省と今年度の事業計画について

6月13日(土) 第334回 総会 於 富山市科学文化センター

・総会

昭和55年度事業・会計報告

昭和56年度事業計画・予算案審議

・報告

氷河の村を訪ねて 武田 宏 (雄山高校)

6月28日(日) 第335回 例会 婦中町常楽寺, 小矢部市大清水の自然をさぐる野外研修会

7月11日(土) ~ 12日(日) 1泊2日の野外研修会

第336回 例会 利賀村の 苔類を中心とした観察会

11月15日(日) 第337回 例会 上市町馬場島の自然をさぐる野外研修会

11月21日(土) 第338回 研究発表会

1.カモシカの歯について 坂下栄作

2.ベニズワイガニの雑種一代の雌について

堀井直二郎(魚津市役所)

3.富山市内のタンポポの分布について

大島哲夫(富山高校)

4.シベリアと中央アジアの自然帯と植生について

本多省三(富山東高校)

本多啓七

3月20日(土) 第339回 役員会 於 富山大学理学部小林研究室

今年度の反省と新年度の事業計画について

富山県生物学会会則

昭和56年6月18日改正

(名称)

第1条 この会は、富山県生物学会と称する。

(目的)

第2条 この会は、富山県における生物学の研究をすることを担いとし、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とする。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 研究発表会 2. 講演会 3. 講習会 4. 出版物刊行 5. その他

(会員)

第4条 この会の会員は、次の通りとする。

1. 普通会員 この会の主旨に賛同し、所定の会費を納入したもの

2. 名誉会員 この会に著しい功勞があつて、総会において承認されたもの

(役員)

第5条 この会に次の役員をおく。

会長 1名 副会長 1名 常任理事 若干名 理事 若干名 幹事 若干名

(役員選出)

第6条 会長、副会長および理事は、総会において会員中より選出し、幹事は会長がこれを委嘱する。

(職務内容)

第7条 役員の仕事は、次の通りとする。

会長は会を代表し、会務を総括する。

副会長および理事は、会長を助けて会の運営に当たる。

幹事は日常の業務を処理する。

(任期)

第8条 役員の仕事は2ケ年とし、重任を妨げない。

(会議)

第9条 この会に、次の会議をおき、会長これを召集する。

1. 総会 年1回以上開き、重要な会務を審議決定する。

2. 役員会 必要によって開き、会長の諮問に応じて会務を審議決定する。

(経費)

第10条 この会の経費は、会費およびその他の収入をもってこれにあてる。

(細則)

第11条 この会の運営上に必要な細則は、別に定める。

(会則変更)

第12条 この会則の変更は、総会の議決によって行う。

細 則

- 1. 普通会员の会費は年額2,000円とする。
- 2. この会の事務所は、富山市西中野町3-1-19 富山市科学文化センターにおく。
- 3. この会に支部をおくことができる。

富山博物学会会則

大正14年10月10日

- 第一条 本会ヲ富山博物学会ト称ス
- 第二条 本会ハ博物学ニ関スル事項ヲ攻究シ併セテ斯学ノ普及ヲハカルヲ以テ目的トス
- 第三条 本会ハ目的ヲ達センガ為メ左ノ事項ヲ行フモノトス
 - 一 講話
 - 二 標本展覽及ビ其ノ交換
 - 三 質疑応答
 - 四 採集旅行
- 第四条 本会ニハ二名ノ幹事ヲ置キ一切ノ会務ヲ処理セシム
- 第五条 本会幹事ハ会員ノ互選ニヨリテ之ヲ定メ任期ハ一ケ年トシ毎年五月ニ於テ改選スルモノトス
- 第六条 本会ハ毎月第三土曜日ニ例会ヲ開ク(但シ変更スルコトアルベシ)会場ハ其ノ都度之ヲ定ムルモノトス
- 第七条 本会会員タラントスルモノハ会員ノ紹介ヲ以テ住所職員氏名ヲ記シタル名刺ヲ幹事ニ申シ込ムベシ 但シ其ノ諾否ハ幹事ニ一任スルモノトス
- 第八条 会費ハ一ケ年金老円貳拾銭トシ四月・十月ノ両度ニ前納スルモノトス
- 第九条 本会ヲ退カントスルモノハ其ノ旨幹事ニ申出ヅベシ